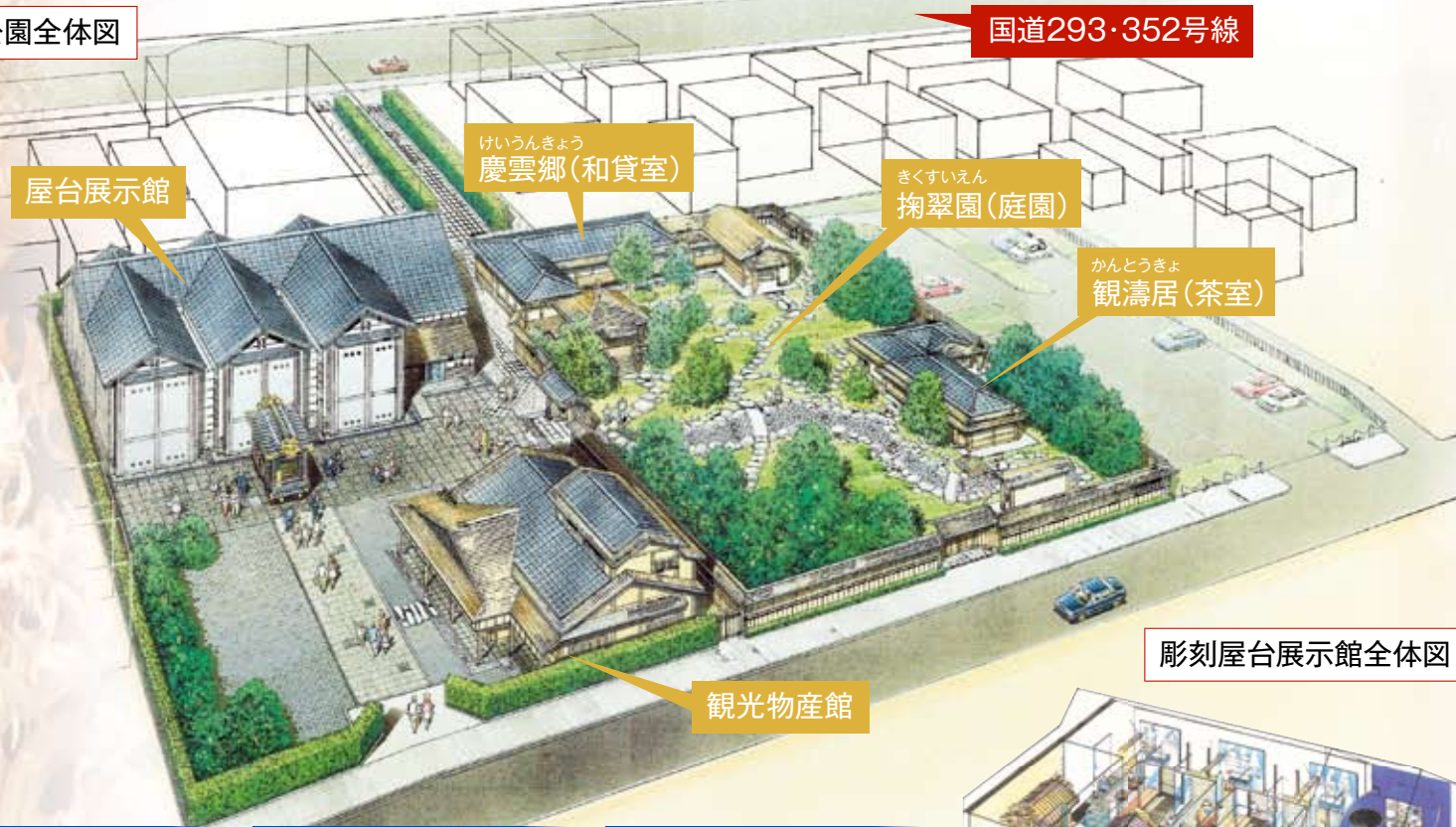


中心市街地の観光・文化拠点

「屋台のまち中央公園」は、久保町、銀座1、2丁目の3町内にまたがり、中心市街地の重要な伝統文化の拠点として整備されました。鹿沼の三名園の一つを復元した「掬翠園」をはじめ、歴史的遺産である彫刻屋台を3台常設展示し、音や映像で鹿沼の秋祭りや屋台の歴史を紹介する「屋台展示館」、お土産品を紹介・販売する「観光物産館」があります。

華麗な彫刻に宿る江戸の技と粋。勇壮な伝統美の競演。

中央公園全体図



銀座2丁目屋台

鬼板と懸魚の雄大な「桐に鳳凰」、高欄下と車隠しの全面を飾る龍、繊細華麗な外欄間など、全体に調和がとれた構図が見どころ。古くからの鹿沼屋台の中で、唯一柱飾り彫刻を有しています。

久保町屋台

内部まで黒漆塗りが施され、ふんだんに使われた金箔や錆金具、細部まで丹念に彩色された彫刻など、豪華絢爛さでは他に類を見ない屋台です。渾然一体となった鬼板、懸魚の金龍が最大の見どころです。

銀座1丁目屋台

黒漆塗の車体を豪壮な白木彫刻で飾るこの屋台は、鹿沼屋台の歴史を物語るものです。鬼板、懸魚の「玉に龍」など、龍の彫刻が多く、脇障子の「鷲に猿」の構図も見事です。

芭蕉句碑

俳聖芭蕉が「おくのほそ道」紀行の途上、元禄2年(1689)3月29日鹿沼に一夜、その折、鹿沼で吟じられたとされる句です。

碑銘は芭蕉の真跡詠草を所蔵する出光美術館の好意により模刻したもので、他に見られない貴重なものです。
(鹿沼史談会建立)



入あひのかねもきこへす
はるのくれ
風羅坊



鹿沼の屋台を迫力の大画面TVで

秋祭りに繰り出される華麗な彫刻屋台の数々。秋祭りと屋台を支える職人の技を迫力ある大画面(103インチ)映像でお楽しみください。



屋台展示庫

3台の屋台を独立して収蔵。保存にも配慮しています。各屋台を間近で、いろいろな角度から見るができます。



屋台の歴史

彫刻屋台の起りから現在の屋台への移り変わりを分かりやすく解説。楽しく学べる紙芝居風のミニシアターもあります。



彫刻の技術

屋台を彩る彫刻。その材料となる樹木や、彫刻の工程に、直接触れることができます。木のぬくもりが伝わってきます。

彫刻屋台展示館全体図

